

【留意事項】

- (1) 運用容量値は、電圧や系統安定度などの制約により、変わる場合があります。備考欄をご参照願います。  
 ※1 1回線送電線(1バンク運用)のため1回線(1バンク)設備容量を記載  
 ※2 3回線送電線(3バンク運用)のため1回線(1バンク)故障時を考慮し2回線(2バンク)分の容量を記載
- (2) 空容量は目安であり、系統接続の前には、接続検討のお申込みによる詳細検討が必要となります。その結果、空容量が変更となる場合があります。
- (3) 原則として熱容量に基づく空容量を記載しております。その他の要因(電圧や系統安定度など)で連系制約が発生する場合があります。
- (4) N-1電制適用可否欄には、熱容量制約の解消を目的とした当該設備へのN-1電制の適用可否の目安を記載しております。系統接続の前には、接続検討のお申込みによる詳細検討が必要となります。その結果、適用可否が変更となる場合があります。適用不可の場合の理由は以下のとおりです。  
 #1 1回線送電線のため  
 #2 1バンク変電所(分割運用等含む)のため  
 #3 配電用変電所のため(高圧電源の系統連系の場合、N-1電制は対象外となります。)  
 #4 ループ系統を構成していてシンプルな制御が困難なため
- (5) N-1電制適用可能量欄には、熱容量制約の解消のため当該設備にN-1電制を適用した場合の適用可能量(上位系考慮なし)の目安を記載しております。系統接続の前には、接続検討のお申込みによる詳細検討が必要となります。その結果、適用可能量が変更となる場合があります。なお、高圧系統に接続される電源の場合、N-1電制は対象外となります。
- (6) 発電設備等が連系する変圧器によっては、別途バンク逆潮流対策が必要になる可能性があります。
- (7) 3年以内に増強した系統へ連系する場合は、空容量の範囲内であっても、増強工事費の一部を負担いただくことがあります。
- (8) 社会的に影響を与えることが懸念される重要施設への供給系統に関する情報や、電力供給契約が特定できるような第三者情報などについては、公開していません。
- (9) 個々の電源の運転状況や需要者の電力使用状況が推測可能な電源線や専用線等であり、設備容量、運用容量、N-1電制可否、N-1電制可能量を非公開とする設備は、備考欄に「◇」を記載しております。

送電線 No	送電線名	電圧 (kV)	回線数	設備容量 (100%×回線数)	運用容量値 (MW)	運用容量制約要因	空容量(MW)		N-1電制適用可否	N-1電制適用可能量 (MW)	備考
							当該設備	上位系等考慮			
11	柏原線	66	2	88	44	熱容量	0	0	可	44	
12	他社支線	66	1	—	—	熱容量	8	0	—	—	◇
13	柏原線	66	2	88	44	熱容量	29	0	可	44	
15	他社線	66	2	—	—	熱容量	35	0	—	—	◇
21	港南線	66	2	152	76	熱容量	0	0	不可 #4	—	
22	他社支線	66	1	—	—	熱容量	11	0	—	—	◇
23	港南線	66	2	152	76	熱容量	0	0	不可 #4	—	
24	他社支線	66	1	53	53	熱容量	53	0	不可 #1	—	※1
25	他社支線	66	1	—	—	熱容量	11	0	—	—	◇
26	他社支線	66	1	—	—	熱容量	53	0	—	—	◇
27	港南線	66	2	152	76	熱容量	0	0	不可 #4	—	
29	他社線	66	2	—	—	熱容量	45	0	—	—	◇
30	他社線	66	2	112	56	熱容量	43	0	可	56	
31	他社支線	66	1	—	—	熱容量	9	0	—	—	◇
32	他社線	66	2	—	—	熱容量	56	0	—	—	◇
33	他社線	66	1	—	—	熱容量	41	0	—	—	◇
35	港南火力線	66	2	314	157	熱容量	55	0	不可 #4	—	
36	他社支線	66	1	—	—	熱容量	29	0	—	—	◇
37	港南火力線	66	2	314	157	熱容量	55	0	不可 #4	—	
38	他社支線	66	1	—	—	熱容量	69	0	—	—	◇
39	港南火力線	66	2	314	157	熱容量	55	0	不可 #4	—	
41	遠浅線	66	2	202	101	熱容量	105	0	可	100	
42	他社支線	66	1	—	—	熱容量	17	0	—	—	◇
43	遠浅線	66	2	202	101	熱容量	105	0	可	100	
45	苫小牧線	66	2	204	102	熱容量	123	0	可	100	
46	沼ノ端支線	66	2	112	56	熱容量	54	0	可	56	
48	苫小牧線	66	2	204	102	熱容量	124	0	可	100	
49	他社支線	66	2	—	—	熱容量	17	0	—	—	◇
50	苫小牧線	66	2	204	102	熱容量	122	0	可	100	
51	明野地中支線	66	2	104	52	熱容量	55	0	可	52	
53	苫小牧線	66	2	204	102	熱容量	119	0	可	100	
54	緑町地中線	66	2	100	50	熱容量	67	0	可	50	
56	苫小牧中央地中線	66	1	53	53	熱容量	53	0	不可 #1	—	※1
58	苫小牧線	66	2	204	102	熱容量	102	0	可	100	
59	他社線	66	1	56	56	熱容量	31	0	不可 #1	—	※1
60	他社支線	66	1	—	—	熱容量	3	0	—	—	◇
61	他社支線	66	1	—	—	熱容量	16	0	—	—	◇
62	他社線	66	1	—	—	熱容量	56	0	—	—	◇
63	他社線	66	1	—	—	熱容量	22	0	—	—	◇
64	他社線	66	1	—	—	熱容量	33	0	—	—	◇
65	他社線	66	1	—	—	熱容量	77	0	—	—	◇
71	苫東線1号線	66	1	45	45	熱容量	0	0	不可 #1	—	※1
72	他社支線1号線	66	1	—	—	熱容量	12	0	—	—	◇
73	苫東線1号線	66	1	—	—	熱容量	0	0	—	—	◇
74	苫東線2号線	66	1	87	87	熱容量	12	0	不可 #1	—	※1
75	他社支線2号線	66	1	—	—	熱容量	12	0	—	—	◇
76	苫東線2号線	66	1	87	87	熱容量	12	0	不可 #1	—	※1
77	他社支線	66	1	—	—	熱容量	10	0	—	—	◇
78	苫東線2号線	66	1	—	—	熱容量	24	0	—	—	◇
81	早来線	66	2	226	113	熱容量	0	0	可	100	
82	他社支線	66	1	—	—	熱容量	10	0	—	—	◇
83	早来線	66	2	226	113	熱容量	22	0	可	100	
85	富川線	66	1	40	40	熱容量	0	0	不可 #1	—	※1
87	富川線	66	1	40	40	熱容量	3	0	不可 #1	—	※1
88	他社支線	66	1	—	—	熱容量	10	0	—	—	◇
89	富川線	66	1	40	40	熱容量	15	0	不可 #1	—	※1
90	他社線	66	1	—	—	熱容量	5	0	—	—	◇
91	富川線	66	1	25	25	熱容量	16	0	不可 #1	—	※1
93	富川線	66	1	23	23	熱容量	18	0	不可 #1	—	※1
95	日高線	33	1	9	9	熱容量	9	0	不可 #1	—	※1
97	振内線	33	1	18	18	熱容量	15	0	不可 #1	—	※1
99	振内線	33	1	17	17	熱容量	14	0	不可 #1	—	※1
100	二風谷地中支線	33	1	—	—	熱容量	2	0	—	—	◇
101	振内線	33	1	17	17	熱容量	17	0	不可 #1	—	※1
102	岩知志線	66	1	46	46	熱容量	0	0	不可 #1	—	※1
103	穂別支線	66	1	11	11	熱容量	11	0	不可 #1	—	※1

22南早来・苫小牧火力系統空容量一覽表

105	岩知志線	66	1	45	45	熱容量	0	0	不可 #1	—	※1
106	振内支線	33	1	23	23	熱容量	21	0	不可 #1	—	※1
108	振内線	33	1	17	17	熱容量	15	0	不可 #1	—	※1
110	岩知志線	66	1	45	45	熱容量	0	0	不可 #1	—	※1
112	右左府線	66	1	28	28	熱容量	0	0	不可 #1	—	※1
113	日高支線	66	1	—	—	熱容量	1	0	—	—	◇
114	右左府線	66	1	28	28	熱容量	2	0	不可 #1	—	※1
116	占冠線	33	1	6	6	熱容量	7	0	不可 #1	—	※1
118	他社線	33	1	16	16	熱容量	16	0	不可 #1	—	※1

変電所 No	変電所名	電圧 (kV)		台数	設備容量 (100%×台数)	運用容量値 (MW)	運用容量 制約要因	空容量(MW)		N-1電制適用 可否	N-1電制 適用可能量 (MW)	備考
		一次	二次					当該設備	上位系等考慮			
1	南早来変電所	187	66	1	200	200	熱容量	0	0	不可 #2	—	※1
14	柏原変電所	66	6.6	2	30	15	熱容量	1	0	不可 #3	—	
28	港南変電所	66	6.6	3	35	20	熱容量	1	0	不可 #3	—	※2
34	苫小牧発電所	187	66	2	200	100	熱容量	0	0	不可 #4	—	
44	勇払変電所	66	6.6	3	30	20	熱容量	2	0	不可 #3	—	※2
47	沼ノ端変電所	66	6.6	1	15	15	熱容量	10	0	不可 #3	—	※1
52	明野変電所	66	6.6	3	30	20	熱容量	10	0	不可 #3	—	※2
55	緑町変電所	66	6.6	3	40	25	熱容量	10	0	不可 #3	—	※2
57	苫小牧中央変電所	66	6.6	1	15	15	熱容量	15	0	不可 #3	—	※1
84	早来変電所	66	6.6	2	12	6	熱容量	0	0	不可 #3	—	
86	厚真変電所	66	6.6	1	10	10	熱容量	5	0	不可 #3	—	※1
92	鷓川変電所	66	6.6	2	12	6	熱容量	0	0	不可 #3	—	
94	富川変電所	66	33	1	10	10	熱容量	8	0	不可 #2	—	※1
		66	6.6	2	20	10	熱容量	4	0	不可 #3	—	
96	厚賀変電所	33	6.6	1	6	6	熱容量	5	0	不可 #3	—	※1
98	平取変電所	33	6.6	1	6	6	熱容量	6	0	不可 #3	—	※1
104	穂別変電所	66	6.6	1	6	6	熱容量	5	0	不可 #3	—	
107	振内変電所	66	33	1	6	6	熱容量	4	0	不可 #2	—	※1
		33	6.6	1	3	3	熱容量	2	0	不可 #3	—	※1
109	荷負変電所	33	6.6	1	6	6	熱容量	6	0	不可 #3	—	※1
111	岩知志発電所	6.6	6.6	1	1	1	熱容量	0	0	不可 #3	—	※1
115	右左府発電所	66	33	1	10	10	熱容量	10	0	不可 #2	—	※1
		66	6.6	2	6	3	熱容量	2	0	不可 #3	—	
117	占冠変電所	33	6.6	1	6	6	熱容量	6	0	不可 #3	—	※1